

南海まち探訪 ウォーキングMAP

わ か や ま じ ょ う か ま ち

⑨ 和歌山城下町コース

一般向き

季節ごとに、歩くたびに
新しい発見がありそう

わ か や ま し が い

和歌山市街

紀州徳川家ゆかりの寺社や史跡がいたるところにあり、意外と知らなかった歴史名所も。
また、お城がよく見えるポイントもご紹介。
春は桜、秋は紅葉と四季折々に訪ねてみたい、
気軽なまち歩きにぴったり。

海の生けすや温泉で
レジャー気分も満喫!

加太

美しい海のパンoramaに感動!
万葉ゆかりのスポットも

和歌浦



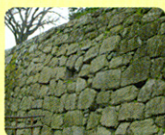
知っとく GUIDE

石積みが 歴史を語る 和歌山城の 石垣。

野面積み



和歌山城は、1585（天正13）年に豊臣秀吉が弟秀長に命じて築城。その後、1600（慶長5）年に浅野幸長が入城、1619（元和5）年には徳川頼宣が入城し、紀州徳川家の居城となりました。この時代の変遷を映すように、石垣の石積みにも変化が見られます。荒削りで石の形もふぞろいな「野面積み」は天正期のもので、時代が進むと大きな石の間に小石を詰めた「打ち込みハギ」に。さらに石材の切り口を合わせて精巧に積み上げた「切り込みハギ」は江戸時代のものとなっています。



打ち込みハギ



切り込みハギ

転用石や刻印もあちこちに。

石垣をよく見ると、宝篋印塔の台座などの転用石が使われています。また、さまざまな紋様が刻まれた石もあり、その刻印は約170種類2100個以上も確認されているとか。こうした転用石や刻印を探してみるのもおもしろいのでは？



転用石



刻印

●和歌山市語り部クラブ

「語り部」は、皆さまのガイド役として和歌山市内観光地をご案内いたします。
※有料（事前予約が必要）
【お問い合わせ・お申し込み】
和歌山市観光協会 TEL073-433-8118
（平日 9時～17時）

見どころ PickUp

●和歌山城西の丸庭園（紅葉溪庭園）

内堀の一部と虎伏山の起伏をたくみに利用して造られた風雅な庭園。池には趣のある橋が架かり、すがすがしい滝音が響きます。四季折々に美しいたたずまいを見せ、ことに紅葉のすばらしさは格別です。

紅松庵（茶室）



●岡口門

堂々とした構えの櫓門。戦禍をまぬがれて城内に唯一残る江戸時代の建造物で、その北側に続く土堀とともに、国の重要文化財となっています。



おいしい和歌山名物も楽しみ！

地元和歌山では「中華そば」と呼ばれているご当地ラーメンをはじめ、なれずし、梅干し、おまんじゅうなど、おいしい名物がいろいろ。ぶらくり丁界隈でおみやげ選びも楽しみです。



なれずし
塩さばとご飯を発酵させた独特の風味。



和歌山ラーメン
とんこつ醤油味が主流。

本ノ字饅頭（総本家駿河屋）
創業以来500余年の伝統を受け継ぐ味わい。
紀州徳川家代々のお慶應にも愛された銘菓。

●岡山の時鐘堂

1712（正徳2）年に紀州藩が設置した、約6m四方2階建ての鐘楼。つり下げられている梵鐘は、大坂夏の陣で豊臣方が使った大砲を鋳直したものとか。当時はこの鐘の音で城下の人々に時刻を知らせていました。



●報恩寺

初代藩主徳川頼宣の夫人瑤林院の墓所がおかれた、紀州徳川家の菩提寺。2代藩主光貞の娘台嶺院の菩提を願って鑄造された梵鐘があり、美しく手入れされた庭から石畳を上りつめた所には徳川家御廟が静かにたたずんでいます。



●無量光寺

珍しい頭と首の釈迦像「首大仏」があります。首から上のことにご利益があるといわれ、受験シーズンになると合格祈願に多くの人が訪れます。



お願い・ご注意

- 所要時間には昼食や休憩時間は含みません。また標準的な歩行速度による目安ですので、各自のペース配分をお守りください。
- ゴミや空き缶はご自分でお持ち帰りください。
- タバコなどの火の後始末は十分ご注意ください。
- 自然はみんなの財産です。草花を摘んだり、樹木を傷つける行為は慎んでください。
- 体調や天候に注意して、ハイキングに適した動きやすい服装でお出かけください。雨具や薬などの用意もお忘れなく。
- 交通機関の時刻は、事前にご確認ください。
- 自然災害等により、コースが通行できない場合も生じますのでご注意ください。
- このパンフレットは2005年3月の取材に基づいて作成しています。



●お問い合わせ 南海テレホンセンター

☎06(6643)1005

●南海電鉄ホームページ <http://www.nankai.co.jp/>